

「首都圏空港(成田・羽田)における国際航空機能拡充プランの  
具体的方策についての懇談会」

2009年5月29日  
(株)日本航空





## 成田・羽田増枠時における当社の対応方針



### 《基本的な考え方》

- ・成田/羽田両空港の機能を一元的に捉え、その能力を最大限に引き出して活用することが最重要。
- ・両空港の容量増・羽田24時間化は、大きなビジネスチャンス。利用者利便性が最大限向上するよう国内線・国際線をバランスよく拡充。

### 《羽田空港》

- ・従来は、首都圏＝地方、地方＝地方移動時の乗継ぎ需要に対応。
- ・再拡張後は、上記に加え、首都圏＝海外、地方＝海外移動時の乗継ぎ需要にも対応。

#### 【国内線】

- ・多頻度小型化により欧米並みの利便性の高いネットワーク環境を構築したい。(新リージョナル機も一部活用)  
⇒ 乗りたい時に乗れる化を達成し、内需拡大・地方活性化に貢献したい

#### 【国際線】

- ・昼間帯では時間価値が高く、ビジネス旅客の“日帰り出張圏”となる近距離国際線を拡充。
- ・深夜早朝帯は、欧米を含む中長距離路線までを視野に入れ、需要の掴める路線を設定。
- ・また、24時間運用の利点を活用し、より利便性の高いダイヤを設定。
- ・深夜早朝帯の旅客便ダイヤの最適時間は、出発22～1時台、到着が22時台および4～6時台が大まかな目安。
- ・貨物事業は、中型貨物機による中国・アジア路線への展開を予定。

### 《成田空港》

- ・従来より、日本と世界を結ぶグローバルハブ空港として機能。増枠により、更にアジア成長路線等を増便。
- ・また、フィーダー路線を拡充し、成田の豊富な国際線ネットワークと日本各地の結びつきを強化。  
⇒ 「国際＝国際ハブ空港」 + 「国際＝国内ハブ空港」としての機能を強化  
⇒ 地方発着および外国人旅客の利便性を向上させ、内需拡大・地方活性化に貢献したい



### 《空港アクセス》

- ・成田空港＝羽田空港間および両空港＝都心間を結ぶ更なるアクセス整備は不可欠。
- ・特に、成田空港へのアクセスは更なる所要時間の短縮が必須。
- ・現在検討中の都心＝成田/羽田空港、成田空港＝羽田空港間の短絡線整備には大きく期待。
- ・また、いかに廉価で空港にアクセスできるかが大きな課題。
  - ⇒ 都心＝成田空港間の“1000円化”は実現できないか？
- ・羽田の深夜早朝帯は、航空需要の増大につながるようなアクセス体系の整備に期待。
- ・羽田のターミナル間移動の時間短縮のため、羽田第1、第2、国際線ターミナル間を結ぶ追加ルート of 整備が必要。

### 《その他》

- ・羽田の24時間化に伴い、お客様が楽に、楽しんで、満足できるハード・ソフトの充実を！
  - ⇒ 飲食施設、休憩施設、映画館、売店 等々

# 羽田・成田の国内線/国際線間の乗継ぎ時の課題



## 1. アジア主要空港・国内空港のMCT比較 (\*MCT: Minimum Connecting Time)

空港名	都市名	MCT	乗り継ぎサービス等
香港国際空港	香港	60分 (Inter-Inter)	空港フェリー乗船時の出入国手続き
仁川国際空港	ソウル	70分 (Inter-Inter)	乗継しやすいターミナル構造
チャンギ国際空港	シンガポール	60分 (Inter-Inter)	乗継しやすいターミナル構造
北京首都空港	北京	180分 (Dom-Inter)	国内線T1/T2→国際線T3(滑走路挟んで立地)
福岡空港	福岡	90分 (Dom-Inter)	国内線→国際線(滑走路挟んで立地)
成田空港(第2ターミナル)	東京	60分 (Dom-Inter)	同一ターミナルの内際乗り継ぎ施設運用開始

**羽田空港:【現行】70分 →【再拡張後】90分**

(\* Dom-Inter乗継ぎ時、国際ターミナル移転により空港外を移動した場合の当社想定)

## 2. 本邦国内都市への就航路線数 (\*2009年夏ダイヤ)

空港名	羽田	伊丹	ソウル(仁川)	福岡	千歳	中部	上海(浦東)	成田
就航空港数	48	30	27	23	22	22	15	9



**お客様には、仁川でなく成田・羽田を選んでスムーズに乗継いでいただきたい!!**

- ・このままでは、成田・羽田両空港の国際競争力が仁川等に比べ弱い。
- ・日本最大の国内線ネットワーク拠点・羽田での内際乗継ぎ機能の強化が急務。(MCT短縮策等)
- ・成田発着のフィーダー便の増加が必要。(地方の利便性を向上)
- ・成田・羽田への空港アクセスの更なる利便性向上が必要。(羽田の深夜・早朝帯対応を含む)

## 羽田空港における内際乗継ぎ時の利便性向上策（ご提案）



- MCT短縮(当社想定90分 ⇒ 60分化)に向け以下の実現をお願いしたい。
- ①ランプ内トンネルの拡幅/増設、車両の高速運用、ランプ内連絡バスの運行
  - ②更なる利便性向上に向けた内際特別動線の設定
- ⇒ 保安検査、出発手続きの場所に工夫の余地あり。

### 〈考え方〉

- ・ランプ内トンネルを活用
- ・国内線到着ピエから出ずにランプ内専用連絡バスで国際線ターミナルに移動
- ・TIAT発旅客とは別動線でゲートへ

